

一本杉通りの復興方針

中間とりまとめ

2024.10. 一本杉通り振興会

一本杉通り振興会では、
一本杉通り独自の復興方針づくりを7月より始めました。
一本杉通りにお住まいの方、事業をされている方、
そして多くの関わってくださっているみなさまからも広く意見を募り、
それらを反映した最終とりまとめを12月に予定しています。
ここでは、これまでの議論に基づく「中間とりまとめ」をお示しいたします。

1. 「一本杉通りの復興方針」をつくるねらい

一本杉通りは、石川県七尾市の中心市街地に位置し、複数の登録有形文化財が建ち並ぶ、歴史情緒のある通りです。住まいと商いが一体となり、伝統文化、芸術、食などに関わる多様な取り組みを長年積み重ねてきました。能登半島地震により大きな被害を受けましたが、2月から復興マルシェを開催するなど、再建に向けて動き出しています。

私たちは、「一本杉通りの復興方針」策定により、一本杉通りにかかわる多くの方と、このまちのことや思い描く将来像を共有し、発信したいと考えています。行政機関やまちを支援してくださるみなさまとも、同じ方向をむいて協働していくことを目指します。

なお、方針に関わる主な地域としては、一本杉通り及び一本杉通り商店街振興会の事業者が面する通りを想定しています。

1.
一本杉通りの
価値や課題を
再確認

2.
みんなで
やるべきことを
確認

3.
まわりの人と
協働する
きっかけ

4.
“そと”へ
メッセージ
を発信

「一本杉通りの復興方針 中間とりまとめ」に対するご意見、
一本杉通りの将来について思っていることや
お考えのことを、ぜひお聞かせください。

(中間発表の会場では紙の「ご意見カード」も用意しております)

ご意見フォーム



<https://forms.gle/NxbKtmQ5V899WXDd9>

2. 「一本杉通りの復興方針」の構成と中間とりまとめの位置づけ

構成

1. 一本杉通りとは
2. 被害状況と復興過程の現況
3. 課題と目指す姿
4. 5つの方針

中間とりまとめ
の内容

策定の流れ

- 7月26日 第1回検討会
- 8月23日 第2回検討会
- 8月～9月 会員事業者へのヒアリング調査
- 9月27日 第3回検討会 中間とりまとめ
- 10月26日 第4回検討会 中間とりまとめの修正
- 現在
- 11月4日 地域の方々にむけた中間発表
- 11月23日 第5回検討会
- 12月21日 第6回検討会 最終とりまとめ



第3回検討会は一本杉通りの模型を使って議論しました。

3. 一本杉通りが目指す姿（案）

一本杉通りの魅力

- 目的地となるお店があること
- 専門店が並ぶこと
- 住まいと商いが一体となっていること
- 一本杉通りの歴史性
- 商店街としての活動の歴史（花嫁のれん、登録有形文化財、アート、食など）
- 復興へむけた歩み



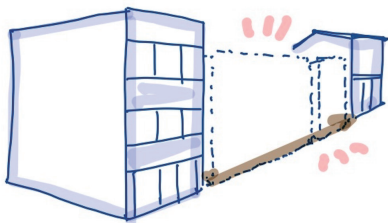
目指す姿（案）

四季と五感と向う三軒両隣りを、
ずっとずっと紡ぎ続ける一本杉通り

1. いろんな「屋」がいっぱいある町です
2. 住んでる人が住んでる人を
互いにもてなす町です
3. 聞き上手な語り部たちがいる町です

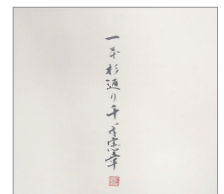
課題（これから懸念されること）

- 地震の被害からの回復
- 人口の流出
- 事業者の減少
- 空き店舗、空き家、空き地の発生
→ 一本杉通りの歯抜け感



一本杉通りの魅力について
2007年にまとめた「一本杉通り
千年憲章」という冊子があり
ます。

「一本杉通り千年憲章」の言
葉を基に、目指す姿を設定し
ました。

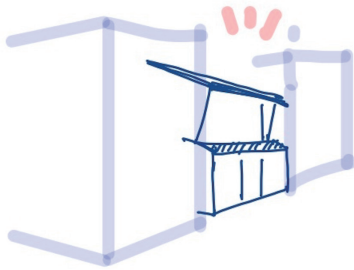


4. 5つの方針（案）の概要

方針1 明治から令和の家並みが息づく町

#空間整備 #空き空間活用 #復興事業との連携

一本杉通りの景観づくりに取り組んできましたが、地震により、建物・道路・石灯などが損壊してしまいました。また建物の解体が進行していますが、解体により多くの空き地が発生する見込みで、その景観や管理が課題です。修理可能な建物が解体されると地域の空き家・空き店舗が減少し、移住や新規出店がしにくくなるデメリットもあります。一本杉通りらしいまちなみをこれからも考えていきます。



まちなみへの配慮した、店舗空間の併設の小規模な災害公営住宅のイメージ

地域のアクション（取り組み）

- 個々の店舗・住宅の再建を進めます
- 石灯の修復を進めます
- 「空き家・空き店舗・空き地活用体制」を立ち上げます
所有者から空き家・空き店舗・空き地を預けてもらい、活用する仕組みを地域主導で作っていきます

協働のアクション（取り組み）

（行政機関等にご協力いただきたい取り組み）

- でか山が通っても簡単に壊れない道路舗装
- 歴史的建造物の保全活用
- 活用する空き家・空き店舗の修繕
- まちなかの空き地などを利用した、小規模な災害公営住宅の整備
（まちなみへの配慮、店舗空間の併設）
- 仮設商店街とまちなみの調和

方針2 いろんな「屋」のふだんの魅力とハレの日の魅力とを届ける

#イベント #観光

被災前には「青柏祭」、「花嫁のれん展」、「うますぎ一本杉」など祭りやイベントに取り組む、多くの方に来訪いただいていた。

ただし、一本杉通りの魅力はハレの日だけではありません。むしろ、日頃から「語り部処」などを通して、初めてのお客さまを温かく迎え、リピーターになっていただくような「お茶の間外交」にも取り組んできました。

被災後には地震の1か月後から「復興マルシェ」を実施し、多くの方が再会し笑顔になる場を作ってきました。

これからもハレとケのある通り、おしゃべりのある通りであり続けていきます。

地域のアクション（取り組み）

- 復興マルシェの実施（2024年12月まで）
- うますぎ一本杉の実施（継続）
- 花嫁のれん展の実施（継続）
次回：2025年4月
- 語り部処の実施（継続）

方針3 チャレンジを応援して目的地となる“お店”を増やす

#開業支援 #次世代育成 #発信 #移住受け入れ

被災後には仮設商店街もできた他にも、お店をできるところはないですかと聞かれることがあります。先代から受け継いできた私たちが踏ん張ることで、次の世代の人たちがやってみようと思える通りを目指します。

地域のアクション（取り組み）

- 空き家・空き店舗を使った
チャレンジショップの運営
- 事業者による開業から継続へのサポート

協働のアクション（取り組み）

（行政機関等にご協力いただきたい取り組み）

- 所有者に対する空き店舗の修復支援
- 開業や移住に対する支援

方針4 まちの「復興」を外にひらく

#観光 #研修 #発信 #協働

被災状況を見に来る方々がたくさんいらっしゃいます。また団体の現地案内の依頼もあります。

一方で、これから数年かけて、まちの様子が変化していくと、以前の一本杉通りの様子がわからなくなっていくことが懸念されます。

避難所での生活や復興マルシェを始めたいきさつ、まちなみの変化等について、ぜひ多くの方に知っていただきたいです。

また、知っていただくことをきっかけに、ぜひ一本杉通りの復興にも関わっていただければうれしいです。

地域のアクション（取り組み）

- 復興の語り部活動
- 視察の受け入れ
- 被災と復興の展示スペースの設置
- 一本杉商店街のウェブサイトのリニューアル
- インターン生の受け入れ

協働のアクション（取り組み）

（行政機関等にご協力いただきたい取り組み）

- 「復興を外に見せる」ための観光案内の充実
- ボランティアの方をはじめとする
多くの関係者との協働・関係性の継続

方針5 災害に常に備える

#防災 #イベント

地震後、コミュニティセンターと花嫁のれん館の寄合処が避難所として使われました。長く断水の中でまちなかの井戸水が利用されました。災害への備えを日頃からしておくことが必要です。

協働のアクション（取り組み）

（行政機関等にご協力いただきたい取り組み）

- 地域づくり協議会と連携した防災活動
例）防災設備の訓練、備蓄物資の入れ替えを
兼ねたイベント実施、自主避難所運用の仕組みづくり